

桐朋

2025 春季コンサート

アカデミー・オーケストラ

スケジュール SCHEDULE



指揮 / 高関 健

指揮 / キンポー・イシイ

指揮 / 尾高 忠明



桐朋アカデミー・オーケストラ 第70回定期演奏会 4/19 Sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 14:00 (開場13:00)
入場料 / 2,000円 (税込)
(全席自由 / 友の会会員・学生・生徒・児童 無料)
ドヴォルザーク: 交響詩「真昼の魔女」作品108
ハイドン: 交響曲 第100番 ト長調「軍隊」
コダーイ: ハンガリー民謡「飛べよ孔雀」による変奏曲
ストラヴィンスキー: バレエ音楽「火の鳥」組曲 (1919年版)

桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ コンチェルト実習コンサート 5/17 Sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 13:30 (開場13:00)
入場料 / 無料 (全席自由)
独奏 / 桐朋学園大学院大学第2年次生
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調「ジュノム」KV271
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番 八短調 作品37
バーバー: ヴァイオリン協奏曲 作品14 より 第1楽章
ハイドン: チェロ協奏曲 第2番 二長調 作品101 Hob. VIIb:2 より 第1楽章 (演奏順不同)

桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会 6/14 Sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 14:00 (開場13:00)
入場料 / 3,000円 (税込)
(全席自由 / 友の会会員・学生・生徒・児童 無料)
メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」作品26
ワーグナー: 歌劇「ローエングリン」第1幕への前奏曲
ワーグナー: 歌劇「タンホイザー」序曲
ブラームス: 交響曲 第1番 八短調 作品68

曲目の一部を変更させていただきました

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ(<http://www.tohomusic.ac.jp>)をご覧ください。
※桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。
※一般有料チケットは3月1日(土)より下記プレイガイドにて発売予定。

【チケット販売所】アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ

主催 / 桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社
後援 / 富山県、(一社)富山県芸術文化協会

【お問い合わせ】桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ TEL.076-434-6800

桐朋
オーケストラ・アカデミー
「友の会」
会員募集中

※公演日当日のご入会は
受付していません。
ご入会方法は、本学ホーム
ページをご覧ください。

演奏を通して、音楽の本質に触れる。

「桐朋オーケストラ・アカデミー」は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、具羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、内外の一流の教授陣が指導にあたっています。「桐朋アカデミー・オーケストラ」は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲のひとつとき等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。



2025春季コンサート 出演者プロフィール



4/19 [sat]

指揮/
高関 健
Ken Takaseki

桐朋学園在学中に1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン優勝、ベルリンでヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務め、その後タングルウッド音楽祭でもレナード・バーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けて、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクールでも優勝。

世界に名だたる名門オーケストラから豊潤な響きを引き出し聴衆や楽員から大絶賛を受けたサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、イターク・パウルマン、ミッシェル・マイスキー、ギドン・クレーメル、ミハイル・プレトニョフ、ピエール・ブレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。

オペラでも新国立劇場ウラジオストクとサンクトペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレッジオペラでのプリテン「ピーター・グライズ」をはじめ、2021年には新国立劇場でストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」を指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。

広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現・名誉指揮者)、札幌響正指揮者、京都市響常任首席客演指揮者などを歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者を務める。

第4回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

東京藝術大学名誉教授

X (旧twitter) @KenTakaseki



5/17 [sat]

指揮/
キンボー・イシイ
Kimbo Ishii

幼少期を日本で過ごし、ヴァイオリンを風岡裕氏に学ぶ。12歳で渡欧、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをワルター・パリイ、ピアノをゲルトッド・クーパーセック各氏に師事。

1986年に渡米、ジュリアード音楽院にてドロシー・ディレイ、ヒュー・カン各氏のもとで研鑽を積むが、左手の故障(局所性ジストニア)のためヴァイオリンを断念、指揮に転向する。小松長生、マイケル・チャーリー、小澤征爾の各氏に指揮法を師事。またマネス音楽院にて楽曲分析及び作曲法を学び、当院よりジョージ&エリザベス・グレゴリー賞を受賞する。1993年、1995年のタングルウッド音楽祭に奨学生として参加し、小澤征爾をはじめサイモン・ラトル等に師事。1995年、デンマークで開催されたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで4位に入賞。

ボストン響とニューヨーク・フィルの定期演奏会、及びタングルウッド音楽祭では小澤征爾、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク等各氏の副指揮者を務めた。これまでにベルリン・コミッシェ・オーパー首席カペルマイスター、マクデブルグ歌劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレーズヴィヒ=ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。指揮したオペラには『フィガロの結婚』『後宮からの逃走』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔弾の射手』『マクベス』『仮面舞踏会』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『トスカ』『トゥーランドット』『さまよえるオランダ人』『トリスタンとイゾルデ』『ワルキューレ』『薔薇の騎士』『サロメ』『死の都』『金鶏』『メシーナの花嫁(ドイツ初演)』などがある。客演指揮者として、ドレスデン・フィル、ドイツ室内管、アウグスブルク歌劇場管、ボストン響室内管弦楽団、上海響、台湾国家響等を指揮。日本においては、N響、都響、読響、新日本フィル、名フィル、札幌響、九響等を指揮。オペラでは、びわ湖ホール・オペラビエンナーレ『フィガロの結婚』、関西二期会『魔弾の射手』を指揮。草津国際音楽祭出演。2010年、「第9回齋藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門受賞。



6/14 [sat]

指揮/
尾高 忠明
Tadaaki Otaka

ロンドン交響楽団、ロンドン・フィル、BBC交響楽団、バーミンガム市交響楽団のほか、日本国内の主要オーケストラへ定期的に客演している。

また、ベルリン放送交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、イルド=フランス国立管弦楽団等へ客演。2017年BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団(旧BBCウェールズ交響楽団)首席指揮者就任から30年に当たりオール・エルガーによる記念コンサートが開催された。2019年にはBBCウェールズ・ナショナル管とBBCプロムスに通算32回目の出演を果たした。

1997年には英国エリザベス女王より大英勳章CBEを授与された。そのほか、1991年度第23回サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、さらに1999年には英国エルガー協会より、日本人初のエルガー・メダルを授与された。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2017年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、2018年度大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2021年旭日小綬章を受章。

現在NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者、東京音楽大学付属オーケストラ・アカデミー音楽監督、2021年から「東京国際指揮者コンクール」審査委員長に就任。2010年から2014年まで新国立劇場オペラ芸術監督、2010年から2年間メルボルン交響楽団首席客演指揮者を務めた。また後進の指導も積極的に行い、東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学音楽学部客員教授、国立音楽大学招聘教授、桐朋学園大学特命教授を務めている。

2025秋季コンサートの予定

9/20 [sat]

桐朋学園音楽部門富山キャンパス
開設30周年記念 特別演奏会
～バイエルン放送響のメンバーを迎えて～

会場:オーバード・ホール 大ホール
開演:14:00

10/18 [sat]

桐朋学園大学院大学
桐朋アカデミー・オーケストラ
協奏曲のひとつとき

会場:オーバード・ホール 大ホール
開演:14:00

11/1 [sat]

桐朋アカデミー・オーケストラ
第71回定期演奏会

会場:オーバード・ホール 大ホール
開演:14:00

11/7 [fri]・8 [sat]

桐朋オーケストラ・アカデミー
第53回室内楽定期演奏会

会場:オーバード・ホール 中ホール
開演:19:00(7日)、15:00(8日)

桐朋

アカデミー・オーケストラ

富山キャンパス開設30周年

スケジュール SCHEDULE



指揮
山下一史



©ai ueda

指揮
キンボー・イシイ



©H.H.H.H

指揮
新田ユリ
ピアノ独奏
岡田博美



©Hidetoshi Ochiai



©K. Mura

桐朋学園音楽部門
富山キャンパス開設30周年記念
～バイエルン放送響のメンバーを迎えて～

特別演奏会 9/20 sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 14:00 (開場13:00)
入場料 / 3,000円 (税込)
(全席自由 / 友の会会員・学生・生徒・児童 無料)
モーツァルト: 交響曲 第36番 八長調「リンツ」KV 425
マーラー: 交響曲 第5番 嬰ハ短調

桐朋学園大学院大学
桐朋アカデミー・オーケストラ
協奏曲のひとつとき

10/18 sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 14:00 (開場13:00)
入場料 / 1,000円 (税込)
(全席自由 / 友の会会員・学生・生徒・児童 無料)
独奏 / 桐朋学園大学院大学生
(オーディション選抜者)

※プログラムは9月に行われる学内オーディションを経て決定されます。

桐朋アカデミー・オーケストラ
第71回定期演奏会

11/1 sat

会場 / オーバード・ホール 大ホール
開演 / 14:00 (開場13:00)
入場料 / 2,000円 (税込)
(全席自由 / 友の会会員・学生・生徒・児童 無料)
ブラームス: ハンガリー舞曲 第1、3、10番
メンデルスゾーン: 交響曲 第5番 二長調「宗教改革」作品107(第一稿)
ブラームス: ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83

桐朋オーケストラ・アカデミー 第53回室内楽定期演奏会 11/7・8 sat

会場 / オーバード・ホール 中ホール 入場料 / 無料 (全席自由)
開演 / 7日 19:00 (開場18:00) ・ 8日 15:00 (開場14:00)

※学内選抜グループによる室内楽プログラム

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会に関する最新情報は、本学ホームページ(<https://www.tohomusic.ac.jp/orchestra/>)をご覧ください。
※桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。
あらかじめご了承ください。

※一般有料チケットは8月1日(金)より下記プレイガイドにて発売予定。

【チケット販売所】アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ

主催 / 桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社
後援 / 富山県、(一社)富山県芸術文化協会

【お問い合わせ】桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ TEL.076-434-6800

桐朋
オーケストラ・アカデミー
「友の会」
会員募集中

※公演日当日のご入会は
受付していません。
ご入会方法は、本学ホーム
ページをご覧ください。

演奏を通して、音楽の本質に触れる。

「桐朋オーケストラ・アカデミー」は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、呉羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、

内外の一流の教授陣が指導にあたっています。「桐朋アカデミー・オーケストラ」は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲のひとつとき等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。

2025秋季コンサート 出演者プロフィール



9/20 [sat]

指揮/
山下 一史
Kazufumi Yamashita

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学

に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

1985年12月からカラヤンの亡くなる1989年までアシスタントを務めた。1986年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急病のカラヤンの代役として急遽ジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となる。その成功以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約。以後着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮してデビュー。オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター（1991年～

1993年）、九州交響楽団常任指揮者（1996年～1999年）を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者（2002年～2008年）を務め、2005年秋には、新国立劇場より松村禎三《沈黙》公演が招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。2008年4月より同団名誉指揮者就任。

2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」、シューマン：交響曲第2番・交響曲第4番などのCD制作も行うなど積極的な活動を展開。2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。

2011年2月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月、2016年3月には水野修孝歌劇「天守物語」、2016年7月に仙台での「コジ・ファン・トゥッテ」公演など、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

2016年4月より千葉交響楽団（旧ニューフィル千葉）音楽監督に就任。「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに、定期公演のみならず、音楽教室にも積極的に出演、千葉県民一人一人に愛されるオーケストラをめざし、オーケストラの一層の発展に努めている。また、東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。

2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。

GUEST
バイエルン放送響の
メンバー

ヴァイオリン アントン・バラコフスキー Anton Barakhovsky (バイエルン放送交響楽団首席コンサートマスター)
オーボエ ラモン・オルテガ・ケロ Ramón Ortega Quero (バイエルン放送交響楽団首席奏者)
トランペット ハネス・ロイビン Hannes Läubin (元バイエルン放送交響楽団ソロ首席奏者)



10/18 [sat]

指揮/
キンボー・イシイ
Kimbo Ishii

ベルリン・コミッシェ・オーパーの首席カペルマイスターを経て、マクデブルク劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。近年は日本国内でも精力的に活動中。

NHK交響楽団との共演をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などの主催公演で指揮。また、日本

でのオペラ活動としては、びわ湖ホールオペラピエンナレ「フィガロの結婚」、関西二期会「魔弾の射手」がある。

12歳で渡欧し、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをワルター・バリリ、ピアノをゲトルド・クーバセックに師事。その後、ジュリアード音楽院にてヴァイオリンをドロシー・ディレイに学び、1992年に指揮に転向。1993年と1995年のタングルウッド音楽祭に奨学生として参加。指揮を小澤征爾、サイモン・ラトルをはじめとする著名な指揮者に師事。その後、ボストン交響楽団とニューヨーク・フィルの同時契約副指揮者として、小澤征爾氏をはじめ、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク、アンドレ・プレヴィン等各氏のアシスタントを務めた。

1995年にはニコライ・マルコ国際指揮者コンクール（デンマーク）で入賞。2010年には「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門を受賞。



11/1 [sat]

指揮/
新田 ユリ
Yuri Nitta

1990年ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国際音楽コンクール＜指揮＞第二位受賞。東京交響楽団を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラへ客演。2015年～2020年愛知室内オーケストラ初代

常任指揮者を務める。2000年10月から1年間文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽を積む。以後日本

とフィンランドを拠点とする。クオピオ交響楽団、ミッレリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、クリスチャンサン管弦楽団、南デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団等北欧各国のオーケストラに客演。フィランドの歴史ある音楽祭からも招聘、2005年～2007年オウルンサロ音楽祭、2006年・2013年・2019年リエクサ・プラスウィークで指揮。またゲルハルト・オピッツ、シプリアン・カツァリス、マキシム・ヴェンゲローフ、ダニエル・ゲーデ、ティボール・ギエンゲ、アルバーナ・ダナイローヴァ、タマーシュ・ヴァルガ、ヨウコ・ハルヤンネ、オイスタン・ボーズヴィーク、ワルター・アウアー等世界的ソリストとも共演。尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。現在、桐朋学園大学指揮科特任講師、相愛大学非常勤講師を務める。日本シベリウス協会第3代会長、日本・フィンランド新音楽協会代表。著書に「ボホヨラの調べ」（五月書房新社）。



ピアノ独奏/
岡田 博美
Hiromi Okada

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位

（スペイン音楽解釈賞を併せて受賞）、1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、1984年第2回ブレトリア国際コンクールにて第1位（リサイタル賞を併せて受賞）と、次々に優勝を果たし注目を集める。

1984年よりロンドン在住。翌1985年、ロンドンでデビューリサイタルを行い、「まさしく来るべきスター」（デイリー・テレグラフ紙）、「図抜けて確かなテクニックで、創造力に富む情熱的な音楽性」（タイムズ紙）と絶賛された。以後、ロンドンを中心にヨーロッパ各地で演奏活動を続けながら、日本においても、毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを開催し、好評を博している。1993年のショパン・エチュード全曲演奏に対して第20回日本ショパン

協会賞を受賞している。オーケストラとの協演も多く、日本フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団ほか、フィルハーモニア管弦楽団BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内管弦楽団等、海外のオーケストラとも協演しており、古典から現代曲までの幅広いレパートリーで聴衆を魅了している。2011年は5月にイギリスにてフィルハーモニア管定期演奏会でベートーヴェンの「皇帝」を演奏し好評を博した。その後も11月に日本フィルとショパン「ピアノ協奏曲 第1番」で、2012年1月と9月に東京都響とそれぞれリゲティ「ピアノ協奏曲」とベリオ「協奏曲 第2番「エコーイング・カーヴ」』（日本初演）での協演で好評を博す。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、ウィーンフィルのメンバーやヴァイオリンの天満敦子、川島成道らと共演し、話題を呼んでいる。各地の音楽祭へもたびたび出演しており、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティヴァル（フランス）、グレート・ロマンティクス・フェスティヴァル（カナダ・ハミルトン）、イスタンブール国際ピアノ・フェスティヴァル、シュタインバッハ音楽祭（オーストリア）、東京の夏音楽祭、草津音楽祭などに出演。近年は、カナダ、日本でマスタークラスを開催し後進の指導もおこなっている。録音も多く、カメラータ・トウキョウからは継続的にソロ、室内楽の分野でCDが発売され、いずれも高い評価をもって迎えられている。平成27年4月より桐朋学園大学院大学教授に就任。



桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ

協奏曲のひととき

2025年 10月18日(土)

会場／オーバード・ホール 大ホール

開演／14:00 (開場13:00)

入場料／1,000円(税込) (全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

指揮／キンボー・イシイ 管弦楽／桐朋アカデミー・オーケストラ

- サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33
チェロ / 沈 理世
- ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37
ピアノ / 政木 千優
- チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
ピアノ / 澤井 美樹

※演奏曲目・出演者等に変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ(<https://www.tohomusic.ac.jp/orchestra/>)をご覧ください。
※桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

※一般有料チケットは下記プレイガイドにて発売中。

【チケット販売所】アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、桐朋学園音楽部門事務局富山グループ

主催／桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、
富山市教育委員会、(株)北日本新聞社
後援／富山県、(一社)富山県芸術文化協会

【お問い合わせ】桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ教学チーム TEL.076-434-6800

桐朋オーケストラ・アカデミー
「友の会」会員募集中

※公演当日のご入会は受付しておりません。
ご入会方法は、本学ホームページをご覧ください。

桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ

協奏曲のひとつとき

10/18(土) オーバード・ホール 開演14:00 (開場13:00)

指揮 / キンボー・イシイ Kimbo Ishii



©白土吉枝

ベルリン・コミッシェ・オーパーの首席カペルマイスターを経て、マクデブルク劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレーズヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。近年は日本国内でも精力的に活動中。

NHK交響楽団との共演をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などの主催公演で指揮。また、日本でのオペラ活動としては、びわ湖ホールオペラビエンナーレ『フィガロの結婚』、関西二期会『魔弾の射手』がある。

12歳で渡欧し、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをワルター・バリリ、ピアノをゲトルド・クーパセックに師事。その後、ジュリアード音楽院にてヴァイオリンをドロシー・ディレイに学び、1992年に指揮に転向。1993年と1995年のタンゲルウッド音楽祭に奨学生として参加。指揮を小澤征爾、サイモン・ラトルをはじめとする著名な指揮者に師事。その後、ボストン交響楽団とニューヨーク・フィルの同時契約副指揮者として、小澤征爾氏をはじめ、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク、アンドレ・プレヴィン等各氏のアシスタントを務めた。

1995年にはニコライ・マルコ国際指揮者コンクール(デンマーク)で入賞。2010年には「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門を受賞。

チェロ / 沈 理世 Risei Shin



滋賀県出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。

これまでにチェロを菱倉新緑、雨田一孝、向山佳絵子の各氏に師事。

現在、桐朋学園大学院大学音楽研究科2年、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程に在学中。チェロを銅銀久弥、室内楽を川久保賜紀、銅銀久弥、音楽学を池原舞の各氏に師事。

ピアノ / 政木 千優 Chihiro Masaki



神奈川県出身。4歳からピアノを始める。北鎌倉女子学園高等学校音楽科ピアノ専攻卒業。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。

第42回全国町田ピアノコンクール本線D部門第3位。ローランド・ピアノ・ミュージックフェスティバル2017ファイナル中高生部門最優秀賞。第23回PIARAピアノコンクール全国大会シニアB部門アポロ奨励賞。第22回万里の長城杯国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位。第92回東京国際芸術協会新人演奏オーディション審査員賞。2018年DEVYONS' VILLAGE受講。第55回(2025年夏期)ウィーン国立音楽大学マスタークラス受講。

これまでにピアノを野口徳子、内田由美、吉村真代の各氏に師事。

現在、桐朋学園大学院大学1年在学中。ピアノを田部京子、岡田博美、室内楽を銅銀久弥、川久保賜紀、音楽学を池原舞の各氏に師事。

ピアノ / 澤井 美樹 Miki Sawai



京都府出身、大阪育ち。京都市立堀川音楽高等学校を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。大学内にてピアノフェスティバル、学内リサイタルに出演。

第32回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門入選。第8回さかい九頭竜音楽コンクールピアノ部門金賞及び坂井市長賞。第10回ヨーロッパ国際ピアノコンクール特級コース高校生の部 金賞及びグランプリ・杉谷昭子賞。2023 Coimbra World Piano Meeting(ポルトガル)に参加。第87回東京芸術協会新人演奏会に出演。

これまでにピアノを前嶋順恵、菊地葉子、中川美穂、上野真、野元佑美、ピアノ重奏を岩井理沙、チェンバロを中野振一郎の各氏に師事。

現在、桐朋大学院大学2年在学中。ピアノを田部京子、岡田博美、室内楽を銅銀久弥、川久保賜紀、音楽学を池原舞の各氏に師事。

桐朋アカデミー・オーケストラ

「桐朋オーケストラ・アカデミー」は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、呉羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、内外の一流の教授陣が指導にあたっています。「桐朋アカデミー・オーケストラ」は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内外各地で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲のひとつとき等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。



桐朋オーケストラ・アカデミー

第53回 室内楽定期演奏会

2025年11月7日(金)19:00開演 (18:00開場)

8日(土)15:00開演 (14:00開場)

オーバード・ホール 中ホール

入場無料

◆11月7日(金)

D. ショスタコーヴィチ：5つの小品

岡祐佳里 (Vn) 齋藤華香 (Fl) 白澤あまね (Pf)

W. A. モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K. 581 より 第1、2、4楽章

小山梨花 (Vn) 水野泰志 (Vn) 山本絵里奈 (Va) 小松みゆう (Vc) 浅見元晴 (Cl)

J. M. スティーブenson：トランペットと打楽器のためのヴィネツツ より

磯野沙弥香 (Tp) 中山美輝 (Perc)

武満徹：2本のフルートのためのマスク

尾上一葉 (Fl) 古賀奏美 (Fl)

Z. コダーイ：セレナーデ 作品12

足利水月 (Vn) 小山梨花 (Vn) 山本絵里奈 (Va)

A. クルークハルト：木管五重奏曲 作品79

齋藤華香 (Fl) 伊庭優希 (Ob) 椿秀隆 (Cl) 安間花鶏 (Fg) 脇山純名 (Hr)

◆11月8日(土)

L. v. ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第4番 ハ短調 作品18-4 より 第1、3、4楽章

則久雅子 (Vn) 雁瀬心生 (Vn) 坂田柚季 (Va) 飯田真子 (Vc)

J. ブラームス：クラリネット五重奏曲 ロ短調 作品115 より 第1、3、4楽章

森麻祐子 (Vn) 足利水月 (Vn) 山本絵里奈 (Va) 沈理世 (Vc) 椿秀隆 (Cl)

G. ブリッチャルディ：木管五重奏曲 ニ長調 作品124

田中友貴 (Fl) 伊庭優希 (Ob) 曾根高潤之助 (Cl) 吉田南 (Fg) 大下弥来 (Hr)

J. ラインベルガー：九重奏曲 作品139 より 第1、4楽章

小牧麻唯果 (Vn) 関桃 (Va) 小松みゆう (Vc) 樋口琴音 (Cb)

齋藤華香 (Fl) 伊庭優希 (Ob) 椿秀隆 (Cl) 西堀健祐 (Fg) 脇山純名 (Hr)

J. クーツィール：金管五重奏曲 作品65

吉野七海 (Tp) 玉井菜子 (Tp) 大下弥来 (Hr) エンスレンション陸 (Tb)

龍崎陸登 (BTb)

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。

主催／桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財) 富山市民文化事業団
富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社
後援／富山県、(一社) 富山県芸術文化協会

お問い合わせ／桐朋学園音楽部門 富山グループ 教学チーム Tel.076-434-6800